



パートナーシップ通信 (第2号)

令和2年4月20日
長崎県交通・地域安全課

「助成金が出る」には要注意!

～県内で、**新型コロナウイルス**に関する不審電話やメールの相談が相次いでいます!

不審電話

県内の事業所に、「厚生労働省の補助機関の職員」と名乗る者などから「新型コロナウイルス感染症の影響で国から社員1人につき50万円が助成される」という電話があった。

不審メール

「新型コロナウイルス感染症対策にマスクを販売するので希望する場合は、返信するように」などとのメールがあった。



長崎がんばらんば隊
隊長 がんばくん

～被害防止のポイント～



電話やメールでの「お金の話」や「個人情報教えて」は詐欺などを疑い、いったん電話をきる・直ぐに返信せず、警察や周囲の方に相談する!

個人情報を教えるように求められたら、リスクを考えて安易に教えない!

パートナーシップ事業所の活動紹介

○ 医療法人秋桜会(長崎市)



▼秋桜会の各施設(コスモスガーデン桜の里、新港、こすもす)や関連施設の春幸会は、毎週月曜日に、地域の草刈りを行うことを通じて、見通しのよい街づくりに取り組んでいます。
▼また、下校中の子供達に声を掛けたり、トイレを自由に使用させることにより施設に親しみを持ってもらい、有事の際に頼ってもらえるような施設づくりに努めています。
▼このほか、各施設利用者の送迎に利用する車両に「こども一〇番」のステッカーを貼付して、見守り活動を行っています。

○ 株式会社なかはら(吉崎市)



▼吉岐市の建設会社「株式会社なかはら」は、交通安全活動に積極的に取り組み、年に3回、吉岐警察署員から交通安全に関する講習を受け、交通安全意識を高めています。
▼また、地域の皆さんと交通安全の意識を共有するために、事務所の外にも見えるように交通安全に関するポスターの掲示を行うなど、地域全体の交通安全意識の高揚にも貢献しています。
▼さらには、年に5回、社員が空き缶及びゴミ拾い等の地域の美化活動に取り組み、地域の環境づくり・規範意識の向上に貢献しています。

編集後記

▼世界的に新型コロナウイルス感染症の影響が収まる気配を見せません。
▼日常生活を送ったり、事業活動を行うなかでは様々な意思疎通が不可欠ですが、集団クラスタ感染を防ぐために「3密」(換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面)を避けるように留意してください。